わいがやサロン
里都まち♥なかい

町民とともにつくる新たな生涯学習施設

vol.２　「わいがや」から「わがごと」へ

2024年度に全６回開催した「わいがやサロン」。町民の皆さんとともにまとめた「基本構想」「基本計画」をもとに公開プロポーザルを行い、設計事業者を決定しました。

2025年度は、形にしていく段階。建築パース模型やVRを使った画像などにより生涯学習施設が少しずつリアルなモノとなってきます。気軽に立ち寄れる地域交流の拠点、多様な学習や芸術文化活動など生涯学習の拠点として、さまざまな過ごし方が共存できる公共空間を実際に利用する人の視点を踏まえて固めていきます。子どもから大人まで町民一人ひとりが「わがこと」として新たな生涯学習施設を「使いこなす・使いたおす」ために、建物の設備や機能だけでなく完成したその先の活動、人の関わりについても話し合いを重ねていきます。今年度も各種ワークショップへご参加をお待ちしています。

問合せ　生涯学習課 ☎(81)3907

開館までの予定スケジュール

	2025年度	2026年度	2027年度
町民ワークショップ	→		12月開館予定
基本・実施設計	→		
用地買収	→		
建設工事		→	→

町の新たな生涯学習施設イメージ

今年度のワークショップスケジュール

７月３日(木) 18：20～20：00 郷土資料館及び周辺	設計者ワークショップ①	**比奈窪56エリアのフィールドワーク** 設計者とともに比奈窪56エリアを歩きながら、建物だけでなく、エリア全体の計画について理解を深めます。
８月４日(月) 18：20～20：00 農村環境改善センター	設計者ワークショップ②	**計画施設の空間体験** 農村環境改善センターのホールに実際の寸法を簡易的に再現し、建物の空間イメージを体験します。
10月19日(日) 10：00～15：00 中井中央公園	第９回わいがやサロン	**美・緑なかいフェスティバルへ出張** わいがやサロンをはじめとした生涯学習施設整備に向けた取り組みを多くの方にお知らせします。
2026年２月13日(金) 18：20～20：00 郷土資料館	第10回わいがやサロン	**今年度の総決算ワークショップ** 2025年度の取り組んできた活動をふり返り、今後すべきことをみんなで話し合います。

わいがやリポート　第7回　設計者と話そう

2025年４月15日(火)18時30分～20時　中井町郷土資料館

この日のわいがやサロンにはSUGAWARADAISUKE建築事務所の設計メンバー４人が登場。代表の菅原大輔さん、藤井将大さん、水越永貴さん、森本毅さんが、町に寄り添い、みんなでつくる設計提案と抱負を語りました。

設計案の核は「可変性」と「余白」。事務室、トイレなどを除く空間を柔軟に使うことで、さまざまな過ごし方ができます。屋外にはさまざまな人が集えるみんなの広場があり、オンデマンドバスの停留所も。大ひさし広場はマルシェや雨の日も憩いの場となる半屋外空間。目玉となるみんなのホール（多目的ホール）は、スポーツや音楽の演奏会など多用途に対応できるように設計。スポーツ利用は平土間で、演奏会はロールバックチェアにより300席ほどの座席確保を目指しています。

グループワークでは、みんなのホールの使い方が論点に。町民と対話する森本さんは「有効活用できないハコモノには絶対したくない」と応答。ホールでいろいろな使い方が共存できる間仕切りのしくみを話し合いました。施設を使いこなす・使いたおす運用が鍵になるかもしれません。

わいがやタイムは1時間ほどで終了、サロンの締めくくりとして、「設計案はまだ決定ではありません。思うことがあれば設計者に伝えてほしい」と呼びかけがありました。

※SUGAWARADAISUKE建築事務所の設計提案は町ホームページでご覧になれます。

※第７回のわいがやサロンの内容を含む、これまでの活動の軌跡はnoteで確認できます。

町ホームページ ID 2948　note